



イマジン ロータリー

会報

留萌ロータリークラブ会長目標

ロータリーの未来 ~ The Future of Rotary ~

2022 ▶ 2023 WEEKLY REPORT

会長 / 申橋 伸幸 幹事 / 青山 貴幸

プログラム

- 本日
来賓卓話「留萌について」
JAL 宮永 泰樹氏
- 次週予定
会員卓話「我が生い立ち」
山形 純弘 会員

- 会員誕生日
申橋 伸幸
- 配偶者誕生日
伊藤 美由紀

【第15回・第16回 合併号】

No. 2936 第15回 11月9日

出席報告

前例会

会員総数	27名
出免会員	4名
出免出席	4名
基準会員出席	19名
出席率	70.37%

例会 / 毎週水曜 12:15~13:15

🖋️ 会長報告

1. 10月26日第5回定例理事会を開催し、11月例会プログラム、レッツピンポンの決算、10月収支報告の承認を致しました。また、世界ポリオデーのイベントとしてフォトコンテストが行われるとの事ですので、武田エレクトの方に一任しております。

を受領致しました。

- 本日回覧中のものに米山資料を収めておりますので、ご確認ください。
- 地区大会に参加された方とゴルフ愛好会の方から、ニコニコボックスをお預かり致しました。会計にお渡し致しました。

📁 幹事報告

- 地区大会に参加して、ライラセミナーの開催案内を頂きました。本日皆様に回覧中です。
- 赤平ロータリークラブ、芦別ロータリークラブから10月例会プログラムを受領致しました。
- 深川ロータリークラブ、砂川ロータリークラブ、芦別ロータリークラブ8月、9月の会報

🏌️ 愛好会

ゴルフ愛好会

関野愛好会会長

10月14日金曜日、地区大会の前座として第2回目のゴルフ愛好会を開催致しました。場所は札幌ゴルフクラブユニコースに於いて8名参加にて開催致しました。大変素晴らしいコースでグリーンが速く、散々なスコアでしたが、参加された皆様のご厚意によりニコニコボックスを集める事が出来ました。ショートホール全てで、

第14回 10月26日(水) 天候/晴

載らなかった方から500円を徴収致しました。載った方もいましたが男気で全員の方に応じて頂きました。優勝は大嶋会員でしたが、徴収は次週ニコニコボックス16,000円と松本前会員から2,000円のご厚志を頂きました。皆様によろしくとの事でした。また、愛好会につきましては今年度あと1回位と考えております。よろしくお願い致します。

ニコニコBOX

- お久しぶりです。早いもので10月最終例会となりました。皆様のご協力に感謝申し上げます。また、地区大会参加頂きました皆様に感謝申し上げます。 串橋会長
- 本日よろしくお願い致します。 青山幹事
- 地区大会お疲れ様です。会長、とてもおいしかったです。本日卓話よろしくお願い致します。 燕副会長
- お祝いいただきました。 桜元会員
- 10月14日地区大会前座、留萌ロータリークラブゴルフ愛好会大成功に終わりました。参加された皆様ありがとうございました。 関野愛好会会長
- ゴルフ愛好会から、元会員から。 ゴルフ愛好会会員

前 回	363,000円
今 回	28,000円
累 計	391,000円

プログラム

「地区大会報告」

燕 副会長

地区大会の報告を致しますが、今回はインターアクトクラブについて報告をさせていただきます。ここにインターアクトクラブ報告書がありますが、今まで地区大会の並行プログラムとして行われていたインターアクトクラブの報告会ですが、今回別枠で行われましたので報告させていただきます。今回、私は奉仕プロジェクトの青

少年担当という事で、最終日の記念行事でありますユースフォーラムに参加して参りました。例年、このユースフォーラムは地区大会の並行プログラムとして行われており、私は参加する事は出来ませんでした。今回は単独で日を設けられて、青少年奉仕に強い思いがある石丸ガバナリーの願いが形になったのではないかと推測致します。インターアクトである6校の高校生が集まり、映像を交えながら自分たちの活動を発表して頂きました。たくさんのロータリアンが見守る中、発表する姿が立派でとても感心致しました。

前にもお話を致しましたが、留萌高校のボランティアクラブが24名ほどで構成されておりますので、留萌クラブでもインターアクトの立ち上げが出来ないのかと再度思いを巡らせながら、子どもたちの可愛い声が遠くで聞こえ、目をつむりながら意識を無くす場面が多々ありました。ただ、なかなかこのようなフォーラムに参加する機会がありませんでしたので、非常に勉強になりました。地区大会にリアル参加をしましたので、後日私を見かけたとのメッセージやフェイスブックでリクエストを頂いて、オンラインだけでは味わえないものがあつたと思います。ユーチューブでアーカイブされておりますので、ぜひ興味のある方は見て下さい。パスワードを要求されますが、「2510」と入れて頂ければ見る事が出来ます。以上、地区大会の報告とさせていただきます。

「地区大会会長幹事会に出席をして」

青山 幹事

私、幹事 青山貴幸は10月14日に会長と共に2022-2023年度国際ロータリー第2510地区、地区大会に出席して参りました。その時の会長幹事会について報告させていただきます。

16時から石丸修太郎ガバナリーの点鐘から始まり、国歌斉唱、ロータリーソング斉唱、そして地区役員紹介、ガバナリー挨拶と進み、そこまでは何時もの例会と変わらないと感じておりましたが、協議事項から始まり、決議第1号から第13号までの決議をこなすという事で改めて大事

な場面と歯を噛みしめて体験をさせて頂きました。

大会運営について地区代表幹事の川口義憲さんからのお話があった後、大会運営委員会報告があり、大会信任状委員会報告と進み、滞りなく点鐘にて会長幹事会が終了しました。その後指導者育成セミナーへと進み、研修リーダーが私が新入会員研修で登別で1泊で開催された時にお世話になった、嵯峨パストガバナーでした。これは眠たい目をこすりながら聞かなければと思い、挨拶だけはしっかりと聞きました。決して寝た訳ではございません。題名が「ロータリーにおけるリーダーとは」でして、ちょっと興味津々でR L I、R Y L A、会員増強の委員長さんからの話を聞いて参りました。2日目の幸子ナイトフィーバーのお蔭で、すっかり私の頭の中はブラックディ・フィーバーでございまして、初体験の事が大ありで、書面にするのは控えさせて頂きます。

幹事としての地区大会はしっかり役目を果たせたと思っておりますが、留萌ナイトを会員皆さんも満喫されたと嬉しく思っております。私からは以上です。ありがとうございました。

「地区大会報告」

申橋 会長

限られた人数ではありましたが、ハイブリッドで3年ぶりの開催となる地区大会へ参加して参りました。ご参加頂きました皆様に感謝申し上げます。

地区大会を振り返りますと、10月14日札幌プリンスホテル・国際バミールにて会長・幹事会が開催されました。石丸ガバナーの点鐘に始まり、挨拶では本年度は「青少年」に特化した地区大会プログラムにした旨、ご挨拶がありました。その後、明日の本会議に備え、「大会決議案上程審議」「大会決議案上程承認」「大会運営について」「大会登録委員会報告」「大会信任状委員会報告」「大会選挙管理委員会報告」を受け会長・幹事会が閉会となりました。

17:00「ロータリーにおけるリーダーとは」と題し、R L I、R Y L A、会員増強委員会が

中心となり指導者育成セミナーが開催されました。「問題解決と合意形成の在り方」「人を動かすための3つのアプローチ」について講話があり、ロータリーはリーダーシップを鍛錬する場であり、一人の優れたリーダーを育てるのではなく、会員全員がリーダーシップを育むことが必要とありました。結果、人が育つとクラブも大きく育ち、望ましいクラブ形成のプロセスを生みクラブ運営に良い効果をもたらすと話がありました。

18:00 待ちに待った懇親会の始まりです。石丸ガバナーの挨拶、来賓紹介に続き松浦ガバナーエレクトの乾杯で祝宴に入りました。本年度はR I 会長代理の参加はありませんでしたが、テーブルは第1グループの皆様と一緒に美味しい料理・ワイン・ビール等を口に会話も盛り上がり、素晴らしい時間を過ごさせて頂きました。締めは、出村ガバナーノミニーによる挨拶で宴が閉じられました。

2日目、本会議の始まりです。今日からは武田会長エレクト、福士奉仕プロジェクト委員長も参加し、4人での大会参加となりました。

10:00 石丸ガバナーの点鐘に始まり、島本地区大会実行委員長の挨拶、国歌、ロータリーソング斉唱。続いて物故者を追悼した後、石丸ガバナーをはじめ来賓より挨拶がありました。約1時間に渡るクラブ紹介では、青山幹事力作の留萌クラブの紹介はもちろんのこと、本年度5回目の会長を務めます、本年度4回目の幹事を務めますといった内容のユニークな動画や趣向を凝らした各クラブ紹介でした。続いて、R I 現況報告、地区現況報告を行いお昼の休憩となりました。

13:00 本大会が再開され、「大会決議案上程」「大会決議案採択」「前年度決算報告」「前年度決算監査報告」「大会登録委員会報告」「大会信任状委員会報告」「大会選挙管理委員会報告」がなされ、議事終了となりました。

地区大会記念フォーラム「R Y L Aがもたらすロータリーの将来」と題し、モデレーターに嵯峨 P G、パネラーに第2580地区 嶋村ガバ

第14回 10月26日(水) 天候/晴

ナー、齋藤RYLA委員長、佐藤RYLA委員、RYLA経験者の吉井さんによってパネルディスカッションが開催されました。各々の方がRYLAに期待するリーダーシップを引き出す方法や実際に経験なされたプレゼンテーション、アクティビティ、ワークショップの経験談を聞き、談議に聞き入れておりました。

質疑応答では、当クラブ青山幹事より「参加者はどのような方が参加対象者となるか」と質問をさせて頂きました。

休憩を挟み、各表彰、ガバナーエレクト紹介・挨拶、ガバナーノミニ紹介・挨拶が行われ、石丸ガバナーよりお礼の言葉で本大会が閉じられました。

17:30 記念懇親会では、私と武田会長エレクトが第一グループ同席で、青山幹事、福士奉仕委員長が第一グループ同席で開会となりました。昨日同様、美味しい料理・お酒を口に会話も盛り上がり素晴らしい時間を過ごさせて頂きました。

締めは、出村ガバナーノミニによる挨拶で宴が閉じられました。

長丁場の地区大会もいよいよ最終日です。昨日のメンバーに燕会員が加わり、5人での参加です。3日目の今日は記念事業「ユースフォーラム」でした。インターアクトストーリーを語ろう①では、地区インターアクトクラブの活動紹介。インターアクトストーリーを語ろう②では、各学校の紹介・活動紹介が行われました。インターアクトクラブの作り方、ローターアクトの変更点、作り方について講話があり、基調講演では羽部PGによる「ローターアクトがクラブに与える影響について」を講演くださいました。

長いようで短かった地区大会も全てのプログラムが終了致しました。

思ったことは、ロータリーは知れば知るほど面白くなる。関われば関わるほど自分を磨いてくれる。この言葉は、まるで人生と同じだなと考えさせられました。

大会登録18名 リアル参加頂きました皆様、

WEB参加頂きました皆様、アクティビティ事業に参加頂きました皆様！ご協力と友情に感謝申し上げます。

プログラム

- 本日
会員卓話「我が生い立ち」
山形 純弘 会員
- 次週予定
－法定休会－

配偶者誕生日
渡 邊 順 子

【第15回・第16回 合併号】
No.2937 第16回 11月16日



前例会

会員総数	27名
出免会員	4名
出免出席	3名
基準会員出席	19名
出席率	73.08%

例会 / 毎週水曜 12:15～13:15

会長報告

- 11月ガバナー月信に山形会員の写真が掲載されました。ネットにて確認下さい。
- 11月4日第1グループの会長幹事会が開催されました。近況報告と来年5月21日羽幌町にて開催される第1グループIMについて、忠津ガバナー補佐よりお話がありました。
- 10月24日ポリオ根絶キャンペーンとして、忠津ガバナー補佐とFMもえるにて収録をさせて頂きました。放送は既に終了しておりますが、原稿を読む感じでしたので緊張致しました。

幹事報告

- 国際ロータリー日本事務局より、全国囲碁大会の結果が届いております。我こそはと思う方がおりましたら、参加されるのも良いかもしれません。
- 羽幌ロータリークラブ、砂川ロータリークラブ、赤平ロータリークラブより例会プログラムが届いております。
- 羽幌ロータリークラブより10月会報が届いております。

委員会報告

親睦活動委員会

桜元 副委員長

先般皆様のお手元にFAXを流させて頂きました年忘れ家族会のご案内です。12月7日午後6時30分点鐘、場所は司アネックス凜です。出欠締め切りが16日までとなっておりますので、忘れずに返事をお出しく下さい。

ニコニコBOX

- 11月も皆様よろしくお願ひ致します。宮永参事、本日はよろしくお願ひします。串橋会長
- 宮永様、本日はよろしくお願ひ致します。伊勢神宮に行って参りました。パワーを貰ってきて、さっそく良いことがありました。

青山幹事

- 宮永様、卓話楽しみにしています。燕副会長
- ロータリー財団・米山奨学会の寄付は、11月中です。よろしくお願ひ致します。

富士委員長

- 宮永様、ようこそ留萌ロータリークラブへお越し下さいました。本日はよろしくお願ひ致します。

辻本会員

- 商工会議所の議員会長に就任致しました。

西谷会員

- 宮永様、ようこそ留萌ロータリークラブへ。本日の卓話楽しみにしています。 関野会員
- 青森でカラフルがオープンします。櫛井会員

・少し良いことがありました。 渡部会員

前 回	391,000円
今 回	21,000円
累 計	412,000円

プログラム・・・・・・・・

「留萌について」

留萌市経済港湾課 参事 宮永 泰樹様

昨年4月1日付けで留萌市役所産業港湾課参事として赴任した宮永と申します。現在は新設した「ふるさと納税課」に着任致しております。

本日は伝統ある留萌ロータリークラブの講話にお招き頂き、心より感謝申し上げます。

私事ではございますが、私の出身は炭鉱の町で栄えた北海道夕張市で生まれました。幼少の頃はスポーツが得意で小学校から野球をはじめ、中学校、高校と野球部に所属し、甲子園に甲子園に出場した投手からヒットを打てたことが唯一の誇りであり自慢でした。地元の高校を卒業し、進学のため旭川市に移り住みました。その後、旭川市に居を構え現在に至っております。趣味は登山、ゴルフ、ドライブ、スポーツ観戦、バーベキュー、温泉、旅行などが好きです。今年の8月中旬には中西市長をはじめ7名で大雪山旭岳へ登山に行きました。普段はランニングと休みの日にはジム通いを4年程続けており、今ではライフワークになっております。単身赴任歴は出戻りも含め14年位になり、嫁をはじめ家族には大変迷惑をかけていると今も思っており、家の事はまかせっきりで大変恐縮しております。

ここで私が過去に経験してきた仕事の内容について少しお話をしたいと思います。前任地は日本航空旭川支店の統括マネージャーとして約2年半業務を行って参りました。主な業務としては旅行会社へのセールス、個人団体の座席を販売する業務が中心となり、またジャルパック旅行商品、航空券に関する国内海外の全般を扱って参りました。その他、地方自治体、各観光協会などを担当しておりました。またJAL

路線が運航している空港との連携や調整も行って参りました。主な自治体としては、美瑛町、上川町、富良野市、旭川市役所、旭川商工会議所、その他観光団体など関係人口の拡大に向けた取り組みを行って参りました。また2018年には、旭川空港国際ターミナル開設の到着便として話題を集めたハワイチャーターを実施しました。当時、私は実務の担当者として旅行会社への座席販売空港との連携を行いながら定時出発に向け準備に忙しかつたのを覚えております。昨今のコロナ感染拡大の影響が大きく、在任中の約3年の内2年間は、営業らしいことは殆ど出来なかった事が心残りです。その中で地元の酒蔵さんが、大きな在庫を抱えている事を聞きました。理由はコロナの影響で、飲食店が軒並営業自粛や開店できなかった事により想定より在庫を大きく抱えてしまったからです。その中でJALとして出来る事は何か?と考えた時、物販とWEB販売を運営している「JALUX」さんからフードロスに関するお話をいただき、抱えている在庫を引き取らせてもらい、リーズナブルな価格帯でWEBを通じて販売をする事が出来ました。ご自宅で飲まれている方の需要が高くなり始めたタイミングであり、予想より反響がありました。酒蔵さんからは大変喜ばれ、自分にとって大変満足できる地域貢献のひとつだと思っております。

私が入社したのが1997年、当時日本エアシステムのグループ会社にあたるジェイトラベル北海道へ入社致しました。その後、2002年に日本航空と日本エアシステムの経営統合により、関連会社においてもそれぞれ統合が進みました。そして私が所属している会社もJALセールスへと社名が変り、現在に至っております。過去の勤務地は旭川支店からはじまり、札幌支店、東京本社、釧路支店、再度旭川支店を歴任して参りました。今回、留萌市役所に出向という形で赴任するキッカケとなりましたのは、新型コロナウイルス感染拡大により移動を自粛した事により、航空業界も大変大きな影響を受けました。そして当社に於いても旅客数は前年の4割程度まで落ち込み、大幅な減益となりました。

そのため、便数の縮小により余剰人員を大きく抱える事になりました。その中で民間企業の知見を地域の発展につなげようと総務省が進める「地域おこし企業人事交流プログラム」という制度をJALが積極的に活用する事になりました。これは全国で人材を希望する自治体に対しグローバルなネットワークを持つJALグループ社員を派遣する事により、地域の活性化、交流人口の拡大に向けた取り組みを支援する事を目的としています。今後もJALのネットワークを生かした「活性化プログラム」を提案するなど積極的に有効活用していきたいと思えます。

私も留萌市に来て1年半が経ち、ここで生活した印象ですが、地元の方々はやや内向きな方が多いのかなという印象を持ち、これから馴染めるかなと少し不安でしたが、最近は少しずつ馴染めてきた感じがします。私も通勤族なのでその土地によって気質はかなり違う印象をもっています。観光スポットでは山と川と海が本当に近く車で20分位の距離にあるので、素材がたくさんあるなと感じています。特にお魚の種類が豊富でお寿司屋さん、居酒屋さんが多い印象です。夕日がとてもきれいで絶景ですが、冬は風の強い時期が多く、夜は寝ていても目が覚める事がしばしばあり、なかなか慣れません。夏の快適さと冬の厳しさがあってこそ留萌の魅力なのかなと思っています。

次に留萌市が抱える課題として、人口が著しく減少し、超高齢化社会の進展が避けられない状況を個人的にも感じています。その中で特に航空業界は観光産業と密接な関係をもっていますので、観光の視点からお話をさせていただきます。

コロナ感染の重症化が軽減されはじめたなかで、留萌市は高規格幹線道路が既に開通し、道内各地からの誘客とともに、アジアを中心とした海外インバウンドの需要もある程度見込まれますが、元々観光都市ではないので宿泊施設の少なく通過型となっているのが、留萌市にお金が落ちない要因にもなっているのではないかと思います。こうしたアフターコロナによる観光需要に向けた取り組みを行っていくためにも、観光施設の整備が急務だと感じます。またJA

Lのネットワークを活用した積極的な情報発信や受け入れ態勢の整備などが必要なのではないでしょうか。留萌にはニシン業で栄えた歴史や伝統文化、素晴らしい観光素材が多く残っています。観光を積極的にPRしていくために、市民行政企業が緊密に連携を図りながら留萌らしい観光を作り上げていく必要があるのではないのでしょうか。まずは行政と市民が一体となって町全体のホスピタリティ(おもてなしのこころ)を一緒になって盛り上げていく事により、留萌市のイメージをおもてなしの心として浸透していければ、さらに素敵なまちになるのではないかと思います。それにはもっとこの街を好きになれるような取り組みをみんなで考え、ひとつひとつ作り上げていければと思います。

また、海水浴を中心とした通過型観光から滞在時間延長への取り組みや、通年滞在型観光を目指し、さまざまな業種が一体となり、観光モデル作りも戦略的に必要と考えます。例えば市内には空き家・空き部屋などが多くありますので、それを民泊として利用し、夏の時期に取り組んではいいのではないかと思います。冬季の観光という点では、荒波の迫力を間近で体験できるものとして、これは個人的発想ですが、円筒のアクリル状の強化プラスチックで覆われた360度透明な施設を作って真正面から荒波を体験できるものとか。また「厳冬浜焼き」をかまくらの中で味わうとか。世界三大波濤は、インドのスマトラ、冬のスコットランドのウイック、その中に北海道の留萌が選ばれているなんて、これほど名誉な事はないのではないのでしょうか。過酷な地域だからこそ、留萌観光の武器になりえるポテンシャルがあると思います。その地域性を十分に生かし、例えば波の専門家を招聘し「波濤サミット」やシンポジウムを通じて、冬の留萌への理解をもっと深めてほしいし、全国に発信出来たらと思います。また、夏場の観光は多様化してきているので、海水浴だけではなく、海辺の景観を眺めながらゆっくりと読書を楽しむ場所の整備、海岸線をジョギングする歩道の整備など必要だと思えます。また海岸、道の駅で朝に行うヨガ教室や体操を地元の方を巻き込

第15回 11月9日(水) 天候/晴

みながら、観光客にも参加してもらおう企画も良いのかもしれませんが。このような留萌らしさ、「留萌時間」をもっとPRしていければよいのではないのでしょうか。食で考えると、地元産のルルロッソに大変魅力を感じています。このもっちりとした食感とコシの強い生地は他に類を見ないと思っています。ぜひこれを活用した焼きたてのパンとピザを作って道の駅などで販売して欲しいなと思っています。近隣でキャンプしているファミリー層やツーリングで訪れる方が手軽に食べられる地元のフードがあるというのは観光客が定着する事に繋がるのではないのでしょうか。今首都圏で働いている方は地方に対して何に魅力を感じるのか、通勤ラッシュからの解放と豊かな自然に囲まれた生活にあこがれを感じる方がほとんどです。地方の強みは自然や癒し、食といったものを十分に満たすものが揃っていますが、空港からのアクセスはまだ課題を抱えているものもあります。ツアーにおいても団体旅行から個人旅行へシフトしているので、レンタカーの需要が高まっている昨今、ニーズに合わせたPRと発信力が必要になると思います。

今年4月に留萌市に於いて新しく「ふるさと納税課」がスタート致しました。ふるさと納税は生まれた故郷や応援したいと思う自治体に「寄付」することで街づくりに参加することが出来る制度です。地元企業との連携により、売れる・稼ぐ特産品の開発、ブランド発信を行い、留萌市応援寄付の受け入れ増加を目的として、地域振興部に設置致しました。今年度の目標額は15億円で、10万件を目指しています。ちなみに去年は7億5千万円でした。主な取り組みとして、新たな特産品の開発、JALとの連携によるふるさと納税等推進、高規格米の企画やおせちの企画のブラッシュアップ、ふるさと納税大使制度の新設などに取り組んでいます。今年度は新米の時期に向けて留萌産ゆめびりか「プレミアム」を返礼品としてブランディングしました。

最後に、留萌について私が思っている事を話したいと思います。

私は仕事のほとんどを航空業界で過ごして参りました。先日亡くなられた故日本航空稲盛名誉会長が中心となり作り上げた日本航空の経営哲学の中にJALフィロソフィがあります。その項目の中に、自分が一番大事にしている言葉があります。それは「感謝の気持ちを持つ」です。一見シンプルに聞こえるかもしれませんが、今回縁あって留萌市という地域で存分に働けるのも、地元の皆様、職場の方、家族といった多くの人達のサポートがあるからこそだと感じています。そのいずれかが欠けていては今の自分はないと思っています。常に謙虚な姿勢を忘れていないか、形だけの「ありがとう」は相手に伝わるものではありません。常に謙虚で素直な気持ちを持ち、周囲の方々に感謝することは、これからの自分の人生にとってもきっと明るくしてくれるものと信じています。留萌市にとって自分に何が出来るのかを十分に考え、留萌の未来をさらに良いものとして地域貢献や活性化のお手伝いをもらえれば幸いです。

本日はご清聴ありがとうございました。